

女性会員の減少を嘆く役員たちの苦肉の策で、女性支部長という声に押されて、年齢を省みず6代目支部長に就任した眞野です。



就任のご挨拶

新支部長 眞野春美

かりだったなどと思えるのも今だからであって、当時の私は、仕事や家族の悩みをいっぱい抱えた町工場の長男の嫁で、暗く、つらい日々でした。全国版になった母校の名前の誇らしき、嬉しき、桜陵会の集まりに出てくるだけで心が癒されました。ひよんなな思ひつきまで、「やまびこ」に込めて下さい。

関係で、桜陵会とは、つかず、離れずのいい関係で来たのに、この年齢になって大役を仰せつかるとは、恩返しせずにつてはならないという神の思し召しかもしれません。あの時、あの想いを共感したみなさま、どうか思い出して下さい。そして私に力を貸して下さい。私より一つでも若いあなた、「やまびこ」に応えて下さい。

会費の納入、総会等への出席、どうかよろしくお願いいたします。

支部長退任の挨拶
谷内秀美 (昭38卒)

前・井上恵支部長より指名を受け、大任ではございますが、緊ぎの気持ちでお引き受けした6年間(平成23〜29年)でした。会員の皆様、役員の皆様、特に当時の中谷義治様、

事務局長(残念ながら任期3年目で事故死された)や、その後を引き継いだ華本事務局長には、リーダーシップを発揮された大きな力で私を支えて頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

在任中、印象に残ったことは、母校の90周年の式典参加や、野球部が28年ぶりに甲子園出場した事です。特にアルプスタンドでの校歌斉唱は感無量でした。

問題(高齢等や会員減)の山積ではありますが、眞野新支部長に後をよろしくお祈り申し上げます。簡単ではございますが挨拶にかえさせていただきます。

美濃田の淵
一陽会会員 大東明宏 (昭52卒、神戸市在住)

阿波の青石が吉野川の侵食を受けてきた景勝地。近くにキャンプ場やバンガローがあって夏はにぎわうが、年末に訪れる人はなく、自分一人だけで、この景観を楽しんできた。

第40回 桜陵会近畿支部総会開催

～役員改選他承認～

第6代支部長に眞野春美氏(昭31卒)を選出



総会参加のみなさん

第40回近畿支部定期総会と「やまびこのつとめ」が、平成29年7月23日(日)午前11時から、ホテルアウイーナ大阪で開催されました。

来賓として、眞鍋和二郎桜陵会本部長、中尾正輝徳島支部支部長、竹内圭介池田高校校長、福田雅敏徳島県大阪本部副支部長をお迎えし、総勢40名が出席しました。

総会は、川原達夫さん(昭47卒)の司会により、校歌斉唱、物故会員への黙祷を捧げた後、谷内支部長(昭38卒)の挨拶に続き、来賓の皆様からご祝辞を頂戴しました。

眞鍋会長からは、野球部の甲子園出場は出来なかったが、井上監督の下、いい選手が入り、来年は期待できる。また、竹内校長からは、3校統合により新しい制服を作り「質実剛健」をモットーとし部活動等を通じて地域社会の活性を図るとお話がありました。

続いて、佐竹勝久さん(昭42卒)を議長に選出して議事の審議に入り、平成28年度活動報告並びに

会計・監査報告、続いて平成29年度活動計画(案)がそれぞれ承認可決された後、任期満了に伴う役員改選の議事に移り、事務局が用意した案を提示し承認を得ました。

新役員は第6代支部長として、谷内秀美さんから眞野春美さん(昭31卒)に引き継がれ、悪化する支部財政の立て直しや減少する会員の増強等の課題は、新体制で取り組みこととなりました。

その他の役員は、浦泉洋志さん(昭37卒)が副支部長に異動し、新しく内田賢久さん(昭33卒)、辺見豊子さん(昭43卒)、松根頼明さん(昭44卒)、西村秀美さん(昭48卒)が理事に、原田 稔さん(昭31卒)が監査役に就任いたしました。

(別掲「役員紹介」参照)元役員の内見さんと西村さんは再就任となりましました。

また、これまで役員として頑張ってこられた谷内支部長は顧問に就任し、岡上妙子さん(昭41卒)、内田千恵美さん(昭49卒)、宮内仁一さん(昭61卒)は退任致しました。

会員より赤字決算の今後について質問があり、華本事務局長より当面は「やまびこ」発行回数を年1回とする緊急避難策(やまびこ68号掲載)を説明して了承されました。

その後、講演会として

講師に阿波国古代研究所・藤井榮氏をお招きし、「古代阿波と畿内地方・日本の元つとめと開拓地について」のテーマで熱弁して頂きました。(2面に講演要旨)

休憩の後、「やまびこのつとめ」は、眞野春美新支部長の就任挨拶と乾杯のご発声により懇親会が始まり、しばらく食事をしながら歓談しました。

最後は、石川元信さん(昭25卒)の万歳三唱と谷内前支部長より6年間支

部長をして、支部の皆さんにお世話になったお礼の挨拶があり、盛会のうちには総会は終了しました。

【事務局】

執務室でお話を伺った。竹園さんは、従業員3人という企業や病院等に食事を提供する会社「日米グループ」の特別顧問で、よく透る声、とても80過ぎとは思えない身のことなして圧倒された。多くの人との出会い、人の恩で「こまごま」を「人」を大切に「一言言葉を何度、何度にも口にされた★池田高峯後、胃腸関係の大病をされ、進学を断念されたが、米谷孝氏という先代社長に出会われ、心酔し、その人についてきて今日があるという。また、10年前に隣臓がんの手術から生還した奇跡の人でもある★何と、いって阪神大震災からの復興が一番大変だった。会社も大きな損害に遭いながら、被災社員に一律30万円の見舞金支給の決断を下されたのも竹園さんだった。2百数十名という被災社員の家家族も含め一人も死者が出なかったのが何よりだったという。そんな時、姫路まで来てくれた兄(池田町役場助役)が手渡してくれた貯金通帳上ハンコ。父亡きあと親代わりの兄のやさしさは今もなお続いている★家庭にあつては、よき夫、3人の子にまつて父。趣味はゴルフと、毎朝1時間の万歩。竹園さんを慕って神戸在住の桜陵会会員はよく集まるという。こんな大きな人を知らなかったとは、「人物歳時記」の役割もいまだしである。昭和30年、三編出身、明石市在住。



題字 蔦 文也
第70号
徳島県立池田高等学校
桜陵会近畿支部
奈良県北葛城郡王寺町元町
2-11-3 (華本方)
TEL・FAX(0745)32-4792

平成28年度 決算報告書
(自)平成28年4月1日
(至)平成29年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
年会費	697,200	総会関係費	368,254
総会費	304,000	新年会関係費	145,185
新年会費	183,000	本部関係費	94,280
広告料	18,000	「やまびこ」関係費	488,340
寄付金	26,600	「やまびこ」郵送費	286,122
受取利息	1,384	事務通信費	58,139
年会費預り金充当	551,073	諸会議費	37,913
前期繰越金	▲241,148	慶弔費	30,000
		口座振込手数料	21,876
		徳島県人会年会費	10,000
合計	1,540,109	合計	1,540,109

繰越金明細
①資産 現金 98,737円
定期預金/郵便局 500,000円
普通預金/郵便局 134,190円
計 732,927円
②負債 年会費預り金 1,284,000円
差引繰越金 ①-② ▲551,073円

平成29年6月21日
上記の通り報告いたします。 会計 吉田 倫子 印
監査の結果、上記の通り正確なることを認めます。 監査役 貞康 印 浦泉 洋志 印

人物歳時記
人を大事に
竹園洋正さん
神戸市兵庫区にある会社の広い

「やまびこ」発行回数の変更

～当面の間年一回に～

支部会員の皆様、日頃は支部の行事また活動に何かとご支援を賜り有難うございます。

既に「やまびこ」68号に発行回数の変更について、お知らせ致しておりましたが、第40回定期総会において、「やまびこ」発行を当面、年度1回にする事が承認されました。第71号からは年度1回発行とし、紙面の充実を図る一方、ホームページを活用しタイムリーに情報の発信に努めます。これまでに以上にご支援ご協力をお願いします。

HP (ホームページ) リニューアルしました



桜陵会近畿支部のホームページへようこそ!

徳島県立池田高等学校の同窓生が集う同窓会「桜陵会」の近畿支部です。

平成16年(2004年)から運営していましたHPをリニューアル・移転しました。フリーソフトを利用していますが、いずれバージョンアップし内容を充実させてまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

特に支部財政改善策の一環としてやむを得ず「やまびこ」の発行が年1回に変更されますので、これまでに重要な役割を持ったホームページが求められます。会員皆さんの情報もアップして参りますので、同窓生の近況、消息、どんなことでも結構です。「お問い合わせ」をクリックしてお寄せください。(電話でも可)

【ホームページ挨拶文】

桜陵会近畿支部のホームページへようこそ!

徳島県立池田高等学校の同窓生が集う同窓会「桜陵会」の近畿支部です。名簿登録会員数2200名余。1979年(昭和54年)設立。間もなく40周年を迎えます。

毎年夏に開催される総会・懇親会(やまびこのつどい)を中心とした様々な活動で、会員相互の親睦と、母校発展の応援を展開しています。楽しい同窓会でありたい!をモットーに。

【HPアドレス】 <https://oryokai-kinki.jimdo.com/>



- 【HP運営基本方針】
1. 桜陵会及び関連情報を中心に発信します。
 2. 「やまびこ」を補完する内容の充実と努めます。
 3. 「楽しい同窓会」を模索・醸成に努めます。

【役員紹介】

- 支部長 眞野 春美 (昭31卒) 新任
副支部長 田邊 光江 (昭33卒) 再任
小西 滋美 (昭35卒) 再任
浦泉 洋志 (昭37卒) 異動
華本 数則 (昭42卒) 再任
- 理事 内田 寛久 (昭33卒) 新任
井上 美治 (昭41卒) 再任
國金 達 (昭42卒) 再任
佐竹 勝久 (昭42卒) 再任
辺見 豊子 (昭43卒) 新任
松根 頼明 (昭44卒) 新任
川原 達夫 (昭47卒) 再任
西村 秀美 (昭48卒) 新任
吉田 倫子 (平10卒) 再任
監査役 原田 稔 (昭31卒) 新任
鈴木 宣康 (昭49卒) 再任
計 吉田 倫子 (平10卒) 再任

【新役員の挨拶】



原田 稔 (昭31卒)

昭和31年卒の原田です。同期の眞野さんから「私が支部長になったのだからあなたも何かお手伝いを」という電話での依頼があり、監査役をお引き受けした次第です。当支部は歴代の支部長はじめ役員の皆様のご尽力で素晴らしい活動が続けられています。この活動の継続を目標に努めていきたいと思っております。

事務局長 華本 数則 (昭42卒) 再任
顧問 伊丹 幸典 (昭26卒) 再任
堀 三芳 (昭26卒) 再任
井上 恵 (昭28卒) 再任
森上 修 (昭30卒) 再任
谷内 秀美 (昭38卒) 異動



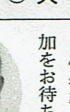
内田 寛久 (昭33卒)

母校を巣立ち60年、歩んだ道は違っても、友やふるさととの絆は琴線に触れ、感動や元気を授かります。桜陵会も高齢化と後輩の減少が進む中、世代を超えて交流が深まり、学び舎・われらが池高の良き伝統が受け継がれて行く、その一助にならんとを願っています。



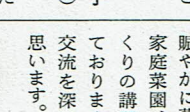
辺見 豊子 (昭43卒)

以前役員をさせていたときは、誰も成り手がないのかも早とちりして引き受けましたが、今回は高齢化による桜陵会の危機感ならば少しは役に立つかなと思えました。



松根 頼明 (昭44卒)

43年卒のみさんの参加をお待ちしています。今回理事にご指名いただきました。微力ながらも皆様のお役にたてるように努力するつもりです。ご協力願ひ申し上げます。卒業後、大阪へ就職して50年の月日が流れ、現在子ども3人、孫8人、賑やかに暮らしています。家庭菜園、枚方市の菊づくりの講習会にも参加しております。今後皆様と交流を深めていきたいと思ひます。



西村 秀美 (昭48卒)

40年もの長きにわたる、近畿桜陵会を立ち上げ支えて来られた諸先輩方のご苦労を思いつつ、役員の皆様へ教えて頂きながら、私に出来ることを探し、楽しみながらお手伝いさせて頂きます。

池高だより

桜陵会事務局 岡久 展子

近畿支部の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。日頃は池田高校に温かい応援のお気持ちを送っていただいております。今年10月、大歩危小歩危溪谷の吉野川はラフティング世界選手権の会場として大変賑いました。本校生徒も男女6名が出場し、地元の声援を受けて大健闘しました。また、海外22カ国の選手団の歓



池高生もパレードに参加

迎パレードには、本校生徒がブラカード役を務めるなど、国際大会の雰囲気を感じられる貴重な体験となりました。自然に挑む選手たちの健闘ぶりを見て、地元のもてなしの心の温かさにも改めて気付かされました。本校探検科では地域

講演要旨

古代阿波と畿内地方

藤井 榮



講演をされる藤井氏

邪馬台国の畿内説、九州説論争が続く、NHK・Eテレ「邪馬台国はどこにある?」でも断定した説はなく、今もって明らかにはなっていません。以下は短い時間の中で、豊富な資料とパワーポイントを駆使し熱く語っていただいた要旨(抜粋)です。

【文責:事務局】

皆さんは古代において畿内はもとより全国に先駆けて阿波人が如何に席卷し躍動したか、その歴史をご存知でしょうか。徳島県西部は太古より日本の元つ国「倭」の一角を占めた重要な地なのです。それを裏付けるように美馬市には「倭大國魂神社(やまとおおくにたまじんじや)」があり、対岸の半田には崇徳天皇が定めた「磯城の水垣宮(しきのみずがきのみや)」跡があります。三好長慶の生誕地といわれる三野町は、天武天皇が構えた「吉野宮」のゆかりの地であり、「ひよとすと京都弁の祖は阿波弁ではな

いか、「阿波人は京都における強者で支配層をなしていた」と司馬遼太郎が語っているように(「街道を行く阿波紀行」)、大きな交流があったことが窺えます。しかし、阿波人が畿内を支配していたのは驚くなれど邪馬台国、卑弥呼の時代からなのです。邪馬台国の九州説、畿内説、阿波説について、①考古学上ではどうとらえているか、②魏志倭人伝ではどう記述されているか、③古事記、日本書紀、記紀類ではどうか。各説の問題点に触れながら、徳島県内の古墳、遺跡、出土品等を合わせて阿波説は有力です。また、邪馬台国と大和朝廷の関係については、「大和朝廷の前身としての邪馬台国」は阿波で成立し、710年に初めて奈良の平城京に遷都したと解するのが阿波説なのです。そして、阿波国は太古天皇の祖先が築いた王城の地であり、3世紀の邪馬台国以来450年間阿波にわたる歴代の天皇は阿波に都を置いたのです。皇祖の地「阿波」を証明する状況証拠は数多くあります。

いずれにせよ、真実の歴史の舞台は、地形、氣候、風土、信仰、習俗、伝承、遺構などにその痕跡が留められていいます。(NPO法人阿波国古代研究所会員、元徳島県職員、徳島市在住)

新生池田高校スタート

平成29年4月から本校(池田高校)を中核に、辻高校、三好高校の三校が再編成統合され「新生池田高校」としてスタートしました。

これは少子化に伴う教育行政上の必然的な対応ですが、「新時代」を迎えた母校の新体制を本校のホームページなどから拾い上げて摘記してみました。

【新生池田高校】の理解を深め、これまで以上に母校発展に寄与したいと思います。

【事務局】

4月10日に合同入学式が本校で行われました。各校の呼称は本校は「池田高校」、「池田高校辻校」、「池田高校三好校」で、校訓は本校の「質実剛健」、校章、校歌も本校のものに統一され、制服は新しいデザインが採用されています。

教育内容は、①本校に普通科、探究科(理数科)、辻校に総合学科、三好校に農業科を併設するメリツトを活かした教育②これまで培ってきた池田高校、辻高校、三好高校の教育を継承し発展させる教育、③地域と連携し、地域の資源、地育の教育力を活かした教育となっており、「地域に根差し、地域から愛される学校、そして地域の発展に貢献できる人材を育成できる学校」を目指す、としています。

なお、部活動、同窓会、PTA活動はこれまで通り各校それぞれで継続されます。

統一されたもの	学 科	クラブ活動	同窓会	創立(校名)
本校	・校章 ・校訓 普通科 探究科(理数科)	運動部10部 文化部10部	桜陵会	大正11年 池田中学校
辻校	「質実剛健」 ・校歌 「しののめ〜」 ・制服 総合学科 (情報ビジネス系列、生活デザイン系列、医療・福祉系列)	運動部8部 文化部・生産部8部	薫の葉会	大正5年 女子実業学校
三好校	農業科(食農科学科、環境資源科)	運動部3部 文化部4部	三好風 同窓会	昭和21年 三好農林学校

(参考・旧校訓: 辻=「熟慮 実践 誠実」、三好=「親和協力 清潔整頓 工夫努力」)

第44回 桜陵会 秋のゴルフコンペ

好天下 15名が参加



氏名	卒年	南	東	加ノ	HC	NET
1 木又健次	G	48	47	95	30	65
2 七田勝正	43	45	46	91	19	72
3 竹園洋	30	43	46	88	14	74
4 宮内昭次	42	40	41	81	6	75
5 佐竹勝久	42	53	49	102	27	75
6 園全	42	50	47	97	21	76
7 森上修	30	46	47	90	13	77
8 葦本数則	42	45	50	95	15	80
9 藤川法保	42	50	52	102	21	81
10 藤川 貴	33	54	54	108	27	81
11 平尾隆巳	35	50	52	102	18	84
12 徳田公伸	35	50	51	101	15	86
13 宮光男	33	57	54	111	23	88
14 丸岡昭文	42	56	58	114	25	89
15 佐々木清一	42	58	62	120	27	93

第44回桜陵会秋のゴルフコンペは、9月23日(土)に北神戸ゴルフ場(神戸市北区)で15名が参加して行われました。

当日は、日ごろの腕前を發揮するには好天気に恵まれた絶好のコンディションであり、楽しくプレーをすることができました。

優勝は木又健次さん(ゲスト)、準優勝は七田勝正さん(昭43卒)、第3位は竹園洋正さん(昭30卒)、またB賞は丸岡昭文さん(昭42卒)でした。その他の参加者の成績は別表の通りです。

優勝者の木又さんは、ゲストとして2回目の参加で栄冠を勝ち取りました。

次回(春)は、5月30日(水)で信楽カントリー倶楽部杉山コース(滋賀県)を予定しています。

【事務局】

事務局が移転しました

役員異動に伴い、事務局が移転しました。新しい住所は以下のとおりです。桜陵会近畿支部へのご意見、住所変更の連絡などお寄せください。

徳島県立池田高等学校

桜陵会近畿支部 事務局

〒636-0013 奈良県北葛城郡王寺町元町2-11-3 (華本方)

TEL/FAX 0745-32-4792

Mail mb56dm84ml@kcn.jp

支部創設40周年記念事業 提案募集

2019年は近畿支部創設40周年を迎えます。歴史ある節目を迎えるにあたり、祝年を記念した事業を実施したいと思っております。準備期間は十分ありますので、斬新な企画をお待ちしています。ご提案は事務局まで。

若い役員!

平成10年卒 吉田倫子さん (旧姓・田村)

昭和30年、40年代の役員ばかりの中で、小さな子どもさん2人を連れて夕方からの役員会をも厭わず参加する姿に、全ての役員が勇気づけられています。

役職は理事と会計を兼務、細やかな事務処理は勿論のこと、会議の流れを的確に掴み、無駄の無いサポート力を發揮。子どもさんたちも、和やかな雰囲気作りに一役買ってくれています。

新役員と吉田さんのお子さん

◆封筒の宛先にある数字の見方◆

〒574-0000 大阪市〇〇区〇〇町 池田 町子様 30-45

上記左の30は平成30年までの会費を納入済みという意味です。右の45は卒年です。

■会費納入ありがとうございました

会員各位には、当会運営にご協力を頂き誠に有り難うございます。

当紙面では、複数年会費納入者のお名前を掲載させて頂いております。今後ともご協力、ご支援をお願い申し上げます。

年会費 12000円
5年会費 60000円
10年会費 120000円

(平成29年4月/平成29年8月未までの会費納入者)

◎10年会費納入者(敬称略)
小川敦美(33) 宮崎榮子(37)
葦本数則(42) 西村秀美(48)
島谷 進(平一)

◎5年会費納入者(敬称略)
瀧川正人(32) 内田賀久(33)
柳坂 登(33) 大谷利典(35)
家田恒子(35) 橋本千恵子(35)
藤 迪子(35) 森下静代(35)
西田巨克(36) 矢野孝廣(37)
澤井きよ江(42) 竹井裕久(45)
内藤フジ子(42)

◎1年会費納入者は22名 ※会報「やまびこ」は、皆様方の会費で発行されています。会費未納者は、本年度分より納入をお願い申し上げます。

年会費のお問い合わせは、会計・吉田まで(090-3655216-102)

謹 賀 新 年

(順不同)

税理士・不動産鑑定士 堀三芳事務所

堀 三 芳

〒530-0043 大阪府北区天満2丁目12番20号
TEL(06) 63521572 FAX(06) 63521572

いながきクリニック集検部 旭レントゲン協会

井 上 恵

〒557-0045 大阪府西成区玉出西2-1-15 4F
TEL(06) 66611882 FAX(06) 66511538

食品・製菓原料等の輸入と卸売 モリウエ商事株式会社

代表取締役 森 上 修

〒542-10072 大阪府中央区高津3-2-27
TEL(06) 66441123 FAX(06) 66441030

株式会社 日米総本社 (日本のお米使用の食事を提供) 特別顧問 竹 園 洋 正

〒652-10862 神戸市兵庫区上庄通3-2-16
TEL(078) 6811138 FAX(078) 68110067 URL http://www.nichiei.jp

放送・通信・防犯・防災・映像・弱電設備全般・設計施工 京放株式会社

取締役会長 須 丸 忠 由

〒601-1433 京都市伏見区石田大山町33-5
TEL(075) 5733330 FAX(075) 5733301 携帯 090-3708-1199

徳島県立池田高等学校 桜陵会近畿支部 監査役 原 田 稔

〒544-0024 大阪府生野区生野西3-11-6
TEL(06) 67311266 FAX(06) 67311751 携帯 090-69917-1751

徳島県立池田高等学校 桜陵会近畿支部 支部長 眞 野 春 美

(昭31卒) (昭31卒) (昭31卒) (昭30卒) (昭30卒) (昭28卒) (昭26卒)

趣味&ライフワーク&ボランティア

夢は染織のサロンを開くこと

西村秀美(昭48卒)

2014年9月、私はタイに居ました。被災地東北で作った縦糸を元に織り繋いで、311杯の織物を製作するというツナミクラフト主催の「織り繋ぎ」ツアー「タイ編」にボランティアで参加したためです。

スマトラ島沖地震による津波被災地を巡り、地域の方々に集まっていた、ブーケトキをりセンターでお借りした織り機を使用し、みんなですしずつ織り繋ぐのです。ツナミクラフトの東山さん、アンダマンディスカバ



織り繋ぎに参加のタイの子どもたち

リーのトゥイさんと私の3人で、学校や施設、支援センターや民家を廻りました。

この織り繋ぎはニューヨークでも実施され、翌年1月17日の神戸の震災記念日には、311杯の織り

現在、現代織りと京都の伝統工芸士の先生に師事し、今年6月には先生や、お召しを考案された350年続く織元の社長さんご夫妻に徳島の私宅でワークショップを開催していただいたところ、

地元の方18名が参加、「閉塞感があったけれど、なんだかスーッと晴れました」という感想を寄せてくれました。何かを一緒にやりたいという気持ちにもなってきたよ

物が完成し、神戸で展示。新聞にも大きく取り上げられましたので、ご存知の方もいらっしやるのではないかと思います。この取り組みに参加したお陰で、織物の持つ力を実感

学年同窓会開催報告

古里再発見

頭師 隆(昭33卒)

昭和33年卒業(普通科・被服科)の同窓会は、10月5、6日開かれ25名が参加した。(うち近畿から10名)



33年卒同窓会

告があった。

6日は、JR四国に新たに登場した豪華列車「しこくのまんなか千年ものがたり」に琴平駅から乗車。地元の食材をふんだんに使った洋風弁当に舌鼓をうち、大歩危、小歩危の絶景を眼下に、古里にはこんな素晴らしい自然があるのだと再確認をし、池田駅で次回も元気の再会を約し帰路についた。(大東市在住)

5日は、香川県琴平町の琴参閣での夜の宴会で、幹事から母校は辻高校、三好高校と統合し新生池田高校となった。野球部は秋の大会では2回戦で敗退したが、140キロ台の本格速球投手が1年生におり、来夏の甲子園出場も夢ではないなどの報告があった。

38年卒同窓会

谷内秀美(昭38卒)

2017年7月1日、3年振りに地元の池田町「八番館」にて開催。参加人数は34名(男子18名・女子16名、近畿から10名)。73歳となり、会場に入る前は顔と名前が思い出せなくて頭を巡っていました。(奈良市在住)



38年卒同窓会

だが、全員名札を付け30分ほど懇談すると、あああ...と高校時代が甦り活発な笑い声が響き、田舎言葉が飛び交い最高潮であつたという間の2時間でした。

二次会は例によってカラオケスナックへ。「高校三年生」から始まり、止まりません。印象はやかましい?...ですね。記念撮影をし、次回(後期高齢)を約束し散会となりました。「みんな、元気でまた会おう!」

ふるさとあれこれ

中村竜司(平3卒)



世界のテクニック・パワーに大歓声!

日本で初めてのレースラフティングの世界大会「ラフティング世界選手権2017」が、10月6日から9日にわたって三好市が誇る清流、吉野川で、盛大に開催されました。

日本チームは、ユース、ジュニア、オープン、マスターズのそれぞれ男女の8カテゴリーに出場。開催国の意地を見せ、それぞれの部門で入賞に絡み、オープン女子、マスターズ男子の部においては、見事、総合優勝の栄冠に輝きました!

また、男女とも地元高校生で編成されたユースチームTRAKUT・トラクトが、今大会の優勝チームのメンバーらの熱心な指導のもと練習を重ね、種目別競技で、大会初日に男子が、H2Hで2位、女子は、テクニックを生かしスラロームで3位に入賞、惜しくも総合入賞は逃がすものの、最終日の大豊町豊永~岩原で行われたダウンリバーまで世界を相手に堂々とした闘いぶり、応援する観衆にも大きな感動を与えました。

また、この大会にともなって、ラフティングや観光関係者のもとより、大学生や一般ボランティア、救護ボランティア、自衛隊、消防団、町婦人会など、多くのバックアップがあったことで、山肌が迫る急峻な国道32号線沿いの吉野川の最激流地で、特に大きなアクシデントもなく大会を成功に導いたことは、何よりの成果だったのではないのでしょうか。

大会期間中は「ここはどこだっけ?」と思うほどの人と国際色、地域の魅力を再確認しました。吉野川、最高!

(三好市在住)

やまびこ短信

◆「秋の家族ハイキング」中止しました。10月29日開催予定であった恒例の家族ハイキングは、台風22号の影響が懸念されたため急遽10月25日中止を決め、ホームページに「緊急連絡」として中止記事を掲載する一方、事前申し込みの方には電話連絡しました。

編集後記

◆新年発行の「やまびこ」は残念ながら今70号が最後。今後は年1回発行(7月)となります。編集子達には忸怩たる感慨があったことは否定できません。(H)

◆厳しい状況下にも、「やまびこ」発案者でもあった、新支部長(就任挨拶)、リーダーを託すことになった縁の不思議さ。かつて、来賓から「近畿がいちばん華やか」と評された総会。新体制で近畿支部の隆盛を誓う新年としたいものです。(U)

訃報

橋本 俊彦さん(昭35卒)
石田 憲二さん(昭55卒)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

謹賀新年

(順不同)

株式会社 アラミック 『お米の虫よけ米びつ先生』
代表取締役 大久保 貴泰 (昭37卒)

本社 〒562-1855 大阪府東淀川区船場東1-12-15
TEL (072) 728-5150
東京支店 〒110-0047 東京都千代田区千代田1-19-15
TEL (03) 3233-6100

丸岡公認会計士事務所
公認会計士 丸岡 昭文 (昭42卒)

〒536-0007 大阪府城東区成育3-13-16 大和工業ビル3階・4階
TEL (06) 6933-1610 FAX (06) 6933-4101
TEL (06) 6933-4101 FAX (06) 6933-4102

居酒屋 大歩危 太田 洋子 (昭42卒)

〒532-1002 大阪府淀川区十三本町2丁目14-11
TEL (06) 6390-7170 (休日・日曜・祝日) 携帯 090-53367-11814

山峡の美酒「芳水」 芳水酒造有限公司
代表取締役 馬場 康雄 (昭53卒)

阪神百貨店試飲販売会 平成30年1月17日(水)23日(水)
阪急百貨店試飲販売会 平成30年3月21日(水)27日(水)

〒779-4801 徳島県三好市井川町辻2-3-1-2
TEL (0883) 781-2004 FAX (0883) 781-4198

木造建築・日本建築・設計施工 株式会社 木又工務店
取締役社長 木又 健次 (昭39年井内中卒)

〒575-1003 大阪府四条区美田町19-38
TEL (072) 879-1181 FAX (072) 877-1197

新・抒情歌を歌う 第2回 みささぎ(陵)コンサート
日時 平成30年6月17日(日) 午後2時
場所 江久庵2階ホール(堺市堺区)

主催 富 永 泰 行 (電話 090-6965-6131)

門のある店 北京料理 徐園

〒550-0002 大阪府西区江戸堀1-15-30
TEL (06) 6448-1526
URL http://www.joon.co.jp